

北海道観光入込客数調査報告書

平成29年度

平成30年8月

北海道経済部観光局

北海道観光入込客数調査の内容と留意事項

1 北海道観光入込客数調査について

本調査は、観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」に準じて平成22年度に道が改正した「北海道観光入込客数調査要領」に基づき、観光入込客数などを推計したものです。

2 調査内容

(1) 観光入込客数（実人数）

市町村が行う観光地点等入込客数調査、道が行う観光地点パラメータ調査及び観光庁が提供する宿泊観光入込客数などのデータなどにより推計した北海道における観光入込客の実人数

実人数：1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合でも、1人と数えます。

訪日外国人来道者数（実人数）については、日本政府観光局（JNTO）の訪日外客数や訪日外客訪問地調査などにより推計した北海道を訪れた外国人の実人数

(2) 観光入込客数（延べ人数）

各市町村の観光入込客数を集計した観光入込客数の延べ人数

延べ人数：市町村の実人数の単純合計

（1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合は、5人と数えます。）

(3) 観光消費額単価

観光地点パラメータ調査により、道内客、道外客、外国人について、「観光」、「ビジネス兼観光」別に推計した観光消費額単価

3 利用上の留意事項

各数字は、四捨五入のため合計が合致しない場合があります。

I 観光入込客数（実人数）

1 概況

国や道・市町村・観光振興機構などの関係者が、効果的なプロモーションなどに取り組んだのをはじめ、アジア圏との国際線が新たに就航されたことなどから、平成28年度の台風や大雪等により減少した旅行需要も回復し、平成29年度の観光入込客数は5,610万人と過去最高になりました。

2 道内客・道外客・外国人別

道内客は4,725万人（前年度比83万人増、+1.8%）、道外客は606万人（同12万人増、+2.0%）、外国人が279万人（同49万人増、+21.3%）となりました。

3 日帰り客・宿泊客別

日帰り客は3,727万人（前年度比72万人増、+2.0%）、宿泊客は1,883万人（同72万人増、+4.0%）となりました。

4 四半期別

四半期別にみると、第1四半期が1,542万人（前年度比24万人増、+1.6%）、第2四半期が2,118万人（同61万人増、+3.0%）、第3四半期が901万人（同33万人増、+3.8%）、第4四半期が1,049万人（同26万人増、+2.5%）となりました。

<平成29年度 観光入込客数(実人数)>

区 分	日帰り客	宿泊客	計	前年度比	構成比	
第1四半期 (4~6月)	道内客	1,098万人	251万人	1,349万人	+0.9%	87.5%
	道外客	2万人	140万人	142万人	+1.4%	9.2%
	外国人	—	51万人	51万人	+21.5%	3.3%
	合計	1,100万人	442万人	1,542万人	+1.6%	100.0%
第2四半期 (7~9月)	道内客	1,551万人	284万人	1,835万人	+2.6%	86.6%
	道外客	10万人	203万人	213万人	+0.9%	10.1%
	外国人	—	70万人	70万人	+20.8%	3.3%
	合計	1,561万人	557万人	2,118万人	+3.0%	100.0%
第3四半期 (10~12月)	道内客	470万人	238万人	708万人	+2.0%	78.6%
	道外客	5万人	125万人	130万人	+4.8%	14.4%
	外国人	—	63万人	63万人	+25.7%	7.0%
	合計	475万人	426万人	901万人	+3.8%	100.0%
第4四半期 (1~3月)	道内客	589万人	244万人	833万人	+1.1%	79.4%
	道外客	2万人	118万人	120万人	+0.8%	11.4%
	外国人	—	96万人	96万人	+18.9%	9.2%
	合計	591万人	458万人	1,049万人	+2.5%	100.0%
合 計	道内客	3,708万人	1,017万人	4,725万人	+1.8%	84.2%
	道外客	20万人	586万人	606万人	+2.0%	10.8%
	外国人	—	279万人	279万人	+21.3%	5.0%
	合計	3,727万人	1,883万人	5,610万人	+2.6%	100.0%

5 訪日外国人来道者数（実人数）

(1) 概況

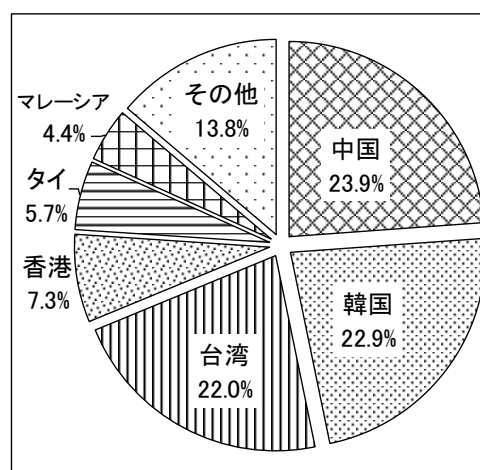
平成29年度の訪日外国人来道者数は、新千歳空港の発着枠が平成29年3月に拡大されたことに伴い、国際線の新規就航や増便があったほか、中国や韓国などアジア圏の北海道人気が続いたことなどにより、279万人と前年度に比べて21.3%増加し、過去最高を更新しました。

これは日本全体の平成29年度訪日外国人旅行者数2,977万人の9.4%となっています。

(2) 国・地域別

本道観光の主要市場であるアジア地域からの来道者は247万6,100人で、前年度に比べて22.2%の増加となりました。

国・地域別で見ると、中国が66万6,000人（前年度比+21.8%）と最も多く、次いで、韓国が63万9,400人（同+50.7%）、台湾が61万4,800人（同+16.1%）、香港が20万3,200人（同+19.0%）、タイが15万9,400人（同▲5.5%）、マレーシアが12万4,000人（同▲1.4%）となっており、特に韓国は前年度に続いて大きく伸び、2位となりました。



来道者数の多い主要な国・地域別の特徴は次のとおりです。

中国	査証発給要件の緩和に伴う個人旅行者（FIT）の増加などによる訪日者数の増加を背景に、温泉や雪景色などを楽しめる北海道は定番の旅行先となっていることなどから、前年度比22%増となり、3年連続で国・地域別のトップとなっています。
韓国	韓国における外国旅行需要の増加を背景に訪日者数が好調に推移する中、北海道人気の高まりが続き、直行定期便の新規就航や増便が相次いだことなどにより、前年度比51%増と大きく伸び、平成24年度以来5年ぶりに国・地域別の2位となりました。
台湾	年間を通じて訪日者数が堅調に推移する中、函館空港や旭川空港への定期便が通年で運行され、9月にはピーチ・アビエーションの台北～新千歳線の定期便の新規就航も追い風となり、前年度比16%増となりました。
香港	北海道へのリピート率が高く、道央圏をはじめ道内各地を訪問し、他のアジア圏の国・地域と違い秋期に比較的多く訪れるといった傾向があり、年間を通じて安定的に観光客が訪れ、前年度比19%増となりました。
タイ	さっぽろ雪まつりに多くの観光客が訪れるなど北海道人気は衰えていないものの、大ヒットした映画による北海道ブームの高まりが落ち着いたことから、他都府県と比べて本道への入り込みが伸び悩んでおり、前年度比6%減となりました。
マレーシア	ラベンダーや桜、冬の雪遊びなど北海道への人気は高いものの、直行定期便の運航本数が前年度よりやや少なくなったことなどから、前年度比1%減となりました。なお、マレーシアからの訪日旅行者数の約3割が北海道を訪れています。

<平成29年度訪日外国人来道者数(実人数)>

(単位:人)

区 分		中国	韓国	台湾	香港	タイ	マレーシア	シンガポール	小計
第1四半期 (4~6月)	29年度	107,200	131,000	108,500	40,200	26,300	30,100	14,000	457,300
	28年度	101,800	66,100	102,900	36,200	27,600	29,900	10,900	375,400
	前年同期比	+5.3%	+98.2%	+5.4%	+11.0%	▲4.7%	+0.7%	+28.4%	+21.8%
第2四半期 (7~9月)	29年度	122,100	189,800	175,600	56,700	37,800	35,100	21,600	638,700
	28年度	101,600	137,100	146,000	44,400	41,800	39,000	20,600	530,500
	前年同期比	+20.2%	+38.4%	+20.3%	+27.7%	▲9.6%	▲10.0%	+4.9%	+20.4%
第3四半期 (10~12月)	29年度	125,600	146,200	160,600	61,800	20,600	26,600	25,300	566,700
	28年度	92,200	87,900	142,200	53,700	25,400	26,000	21,400	448,800
	前年同期比	+36.2%	+66.3%	+12.9%	+15.1%	▲18.9%	+2.3%	+18.2%	+26.3%
第4四半期 (1~3月)	29年度	311,100	172,400	170,100	44,500	74,700	32,200	8,400	813,400
	28年度	251,000	133,200	138,500	36,500	73,900	30,900	7,800	671,800
	前年同期比	+23.9%	+29.4%	+22.8%	+21.9%	+1.1%	+4.2%	+7.7%	+21.1%
合 計	29年度	666,000	639,400	614,800	203,200	159,400	124,000	69,300	2,476,100
	28年度	546,600	424,300	529,600	170,800	168,700	125,800	60,700	2,026,500
	前年同期比	+21.8%	+50.7%	+16.1%	+19.0%	▲5.5%	▲1.4%	+14.2%	+22.2%

区 分		米国	オーストラリア	カナダ	ロシア	その他	合計
第1四半期 (4~6月)	29年度	8,800	8,000	3,000	3,300	25,000	505,400
	28年度	7,600	7,600	2,700	2,500	20,200	416,000
	前年同期比	+15.8%	+5.3%	+11.1%	+32.0%	+23.8%	+21.5%
第2四半期 (7~9月)	29年度	16,700	7,100	6,300	4,100	25,400	698,300
	28年度	12,600	5,600	5,200	2,800	21,600	578,300
	前年同期比	+32.5%	+26.8%	+21.2%	+46.4%	+17.6%	+20.8%
第3四半期 (10~12月)	29年度	10,000	6,800	5,300	3,000	41,100	632,900
	28年度	8,900	5,400	4,600	2,200	33,500	503,400
	前年同期比	+12.4%	+25.9%	+15.2%	+36.4%	+22.7%	+25.7%
第4四半期 (1~3月)	29年度	41,600	32,600	7,800	3,700	56,400	955,500
	28年度	36,000	29,600	7,600	2,800	55,700	803,500
	前年同期比	+15.6%	+10.1%	+2.6%	+32.1%	+1.3%	+18.9%
合 計	29年度	77,100	54,500	22,400	14,100	147,900	2,792,100
	28年度	65,100	48,200	20,100	10,300	131,000	2,301,200
	前年同期比	+18.4%	+13.1%	+11.4%	+36.9%	+12.9%	+21.3%

※参考 インドネシア、フィリピン、イギリスについて、参考値として試算したところ、「その他」147,900人のうち、インドネシアが34,200人、フィリピンが14,800人、イギリスが14,400人となっております。

Ⅱ 観光入込客数（延べ人数）

1 総数

全道179市町村から報告のあった観光入込客数(実人数)を合計した総数(延べ人数)は、1億4,576万人で、前年度に比べて3.4%の増加となりました。

また、宿泊客延べ数の合計は、3,723万人泊で、前年度に比べて6.4%の増加となりました。

2 圏域別

圏域別の観光入込客数(延べ人数)を見ると、前年度は北海道新幹線の開業効果を受けて大きく伸びた道南圏が前年度に比べて7.2%減少しましたが、他の5圏域は前年度に受けた台風等の影響から入り込みが回復するなど、前年度を上回りました。

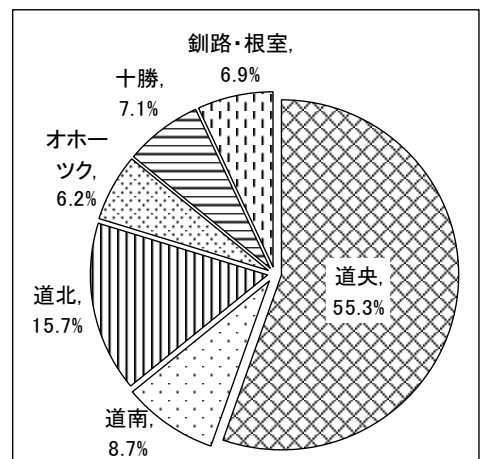
また、宿泊客延べ数では、道南圏がわずかに減少しましたが、他の5圏域は前年度に比べ増加しました。

なお、各圏域の観光入込客数の特徴は次のとおりです。

道 央 圏	「さっぽろオータムフェスト」や「白老牛肉まつり」など、開催期間中天候に恵まれず集客が伸びなかったイベントはあったものの、台風等の影響で行楽の出足が鈍った前年度に比べると天候が安定していたことに加え、空知や後志管内などのワイン、札幌市や室蘭市の夜景など、地域の魅力が発信されたこともあり増加しました。
道 南 圏	新函館北斗駅前のホテルオープンや、奥尻島フェリー航路への新造船就航などはありましたが、前年度に比べると北海道新幹線の開業効果が落ち着いたことや、冬季の記録的な大雪などから減少しました。
道 北 圏	ラベンダーをはじめとする花観光や、「青い池」「雲海テラス」などの観光スポットが根強い人気で集客を伸ばしたことに加え、スキーなど雪を楽しむアクティビティも人気を集めたことなどから増加しました。
オホーツク圏	台風等大雨被害の影響があった前年度に比べ概ね天候に恵まれたことに加え、花観光の定着やスポーツ合宿の底支え、流水観光が好調であったほか、8月に「神の子池」が阿寒摩周国立公園の区域に含まれ認知度が向上したこともあり、増加しました。
十 勝 圏	前年度の台風被害等の影響により大きく減少した入り込みが回復したことに加え、移転リニューアルした「道の駅ピア21しほろ」などの観光施設や、「とかちマルシェ」などのイベントへの来場者数が好調だったことなどから増加しました。
釧路・根室圏	平成28年3月の道東自動車道阿寒インターチェンジの開通効果が続いたことに加え、野鳥観光や長期滞在が定着したほか、阿寒摩周国立公園への名称変更や、厚岸町のウイスキー蒸留所が話題を呼んだこともあり、増加しました。

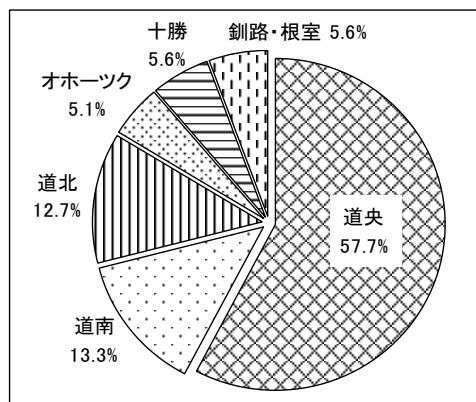
<圏域別観光入込客数(延べ人数)>

圏 域	観光入込客数	前年度比	増減数	構成比
道 央	8,060万人	+3.5%	+274万人	55.3%
道 南	1,274万人	▲7.2%	▲98万人	8.7%
道 北	2,293万人	+2.5%	+57万人	15.7%
オホーツク	906万人	+8.5%	+71万人	6.2%
十 勝	1,042万人	+9.0%	+86万人	7.1%
釧路・根室	1,000万人	+9.6%	+87万人	6.9%
合 計	14,576万人	+3.4%	+477万人	100.0%



〈圏域別宿泊客延べ数〉

圏域	宿泊客延数	前年度比	増減数	構成比
道央	2,149万人泊	+8.5%	+169万人泊	57.7%
道南	494万人泊	▲0.5%	▲2万人泊	13.3%
道北	474万人泊	+7.7%	+34万人泊	12.7%
オホーツク	189万人泊	+2.6%	+5万人泊	5.1%
十勝	209万人泊	+5.1%	+10万人泊	5.6%
釧路・根室	208万人泊	+4.8%	+10万人泊	5.6%
全道	3,723万人泊	+6.4%	+225万人泊	100.0%



3 市町村別

観光入込客数（実人数）を市町村別で見ると、札幌市が1,527万人（前年度比+10.0%）で最も多く、次いで、小樽市806万人（同+1.9%）、旭川市536万人（同+0.9%）、以下函館市、千歳市、釧路市、登別市の順となっています。

一方、宿泊客延べ数で見ると、札幌市が1,308万人泊（前年度比+15.2%）で最も多く、次いで、函館市434万人泊（同▲2.0%）、釧路市154万人泊（同+5.8%）、以下、登別市、倶知安町、帯広市、旭川市の順となっています。

〈観光入込客数(実人数)の多い市町村〉

順位	市町村名	入込客数	前年度比
1	札幌市	1,527万人	+10.0%
2	小樽市	806万人	+1.9%
3	旭川市	536万人	+0.9%
4	函館市	525万人	▲6.4%
5	千歳市	524万人	+1.0%
6	釧路市	524万人	+13.9%
7	登別市	405万人	+5.1%
8	洞爺湖町	293万人	▲4.4%
9	帯広市	270万人	+9.0%
10	喜茂別町	258万人	+1.2%
11	壮瞥町	219万人	▲6.2%
12	石狩市	205万人	▲2.8%
13	苫小牧市	199万人	+3.2%
14	富良野市	189万人	+1.9%
15	上川町	185万人	▲1.1%
16	七飯町	184万人	▲8.0%
17	伊達市	181万人	0.0%
18	占冠村	176万人	+18.1%
19	白老町	174万人	▲1.8%
20	美瑛町	168万人	+1.2%

〈宿泊客延べ数の多い市町村〉

順位	市町村名	宿泊客延べ数	前年度比
1	札幌市	1,308万人泊	+15.2%
2	函館市	434万人泊	▲2.0%
3	釧路市	154万人泊	+5.8%
4	登別市	131万人泊	+2.8%
5	倶知安町	127万人泊	+2.0%
6	帯広市	114万人泊	+5.8%
7	旭川市	94万人泊	+9.2%
8	小樽市	89万人泊	+1.5%
9	洞爺湖町	73万人泊	+4.9%
10	北見市	72万人泊	+3.4%
11	富良野市	69万人泊	+4.9%
12	上川町	65万人泊	▲2.0%
13	二セコ町	63万人泊	+4.2%
14	占冠村	62万人泊	+31.9%
15	網走市	48万人泊	+5.3%
16	斜里町	46万人泊	+1.8%
17	音更町	44万人泊	+6.4%
18	留寿都村	39万人泊	▲1.6%
19	稚内市	38万人泊	+2.1%
20	室蘭市	37万人泊	+12.9%

4 訪日外国人来道者の宿泊延べ数

(1) 国・地域別

平成29年度の訪日外国人来道者の宿泊延べ数は、757万2千人泊で、前年度に比べて19.2%の増加となりました。

国・地域別に見ると、台湾が180万人泊で全体の23.8%を占め最も多く、次いで、中国が176万5千人泊で23.3%、韓国が120万6千人泊で15.9%、香港が78万7千人泊で10.4%、シンガポールが38万1千人泊で5.0%、以下、タイ、マレーシアなどの順となっています。

(2) 圏域別

圏域別に見ると、道央圏が551万人泊と全道の72.7%を占め最も多く、次いで道北圏、道南圏、釧路・根室圏、十勝圏、オホーツク圏の順となっています。

前年度と比較すると、道南圏の25.5%増をはじめ、6圏域とも10%以上の伸びを見せ、全道では19.2%の増加となりました。

〈圏域別訪日外国人来道者宿泊延べ数〉

(単位:人泊)

圏域	ア ジ ア										
	中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	マレーシア	タイ	インド	インドネシア	フィリピン	ベトナム
道央	1,295,925	1,074,230	1,070,444	565,671	258,642	200,851	271,894	4,769	63,884	40,914	6,562
道南	117,151	29,387	318,368	24,958	19,573	21,168	36,119	605	8,829	769	187
道北	252,814	79,651	236,781	118,882	65,345	27,522	54,070	309	8,484	2,087	1,307
オホーツク	25,312	5,843	33,244	27,552	11,342	5,362	3,423	106	638	355	204
十勝	31,345	10,336	63,207	27,818	14,191	5,927	3,240	99	677	127	281
釧路・根室	42,100	6,567	78,048	21,854	11,771	6,326	2,901	97	769	333	454
全道	1,764,647	1,206,014	1,800,092	786,735	380,864	267,156	371,647	5,985	83,281	44,585	8,995
前年度比	+21.2%	+38.5%	+16.5%	+19.3%	+13.0%	▲2.5%	▲3.5%	▲11.8%	+34.1%	+37.6%	+20.0%
構成比	23.3%	15.9%	23.8%	10.4%	5.0%	3.5%	4.9%	0.1%	1.1%	0.6%	0.1%

圏域	ヨーロッパ				北 米		オーストラリア	その他	計	28年度	前年度比
	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	アメリカ	カナダ					
道央	17,025	27,730	9,468	9,066	122,917	19,452	179,074	269,511	5,508,029	4,631,733	+18.9%
道南	466	1,278	803	910	8,571	2,325	3,390	8,614	603,471	480,827	+25.5%
道北	1,735	3,034	3,911	1,514	14,627	2,574	38,646	43,511	956,804	796,367	+20.1%
オホーツク	170	751	898	778	3,376	336	1,552	9,089	130,331	118,257	+10.2%
十勝	62	785	496	334	2,318	153	10,513	7,136	179,045	160,521	+11.5%
釧路・根室	1,403	1,670	1,387	878	4,873	585	2,341	9,952	194,309	164,178	+18.4%
全道	20,861	35,248	16,963	13,480	156,682	25,425	235,516	347,813	7,571,989	6,351,883	+19.2%
前年度比	+33.8%	+26.7%	+20.2%	+2.9%	+18.0%	+3.4%	+4.2%	+33.0%	+19.2%		
構成比	0.3%	0.5%	0.2%	0.2%	2.1%	0.3%	3.1%	4.6%	100.0%		

(3) 市町村別

市町村別に見ると、札幌市が309万3千人泊（前年度比+23.2%）で最も多く、次いで登別市が51万9千人泊（同+8.1%）、函館市51万5千人泊（同+23.4%）、倶知安町43万4千人泊（同+22.4%）、洞爺湖町34万3千人泊（同+21.5%）となっています。

【宿泊延べ数の多い上位5カ国・地域】

順位	国名	宿泊延べ数	前年度比
1	台湾	1,800,092人泊	+16.5%
2	中国	1,764,647人泊	+21.2%
3	韓国	1,206,014人泊	+38.5%
4	香港	786,735人泊	+19.3%
5	シンガポール	380,864人泊	+13.0%

【宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	3,092,824人泊	+23.2%
2	登別市	518,936人泊	+8.1%
3	函館市	514,653人泊	+23.4%
4	倶知安町	433,685人泊	+22.4%
5	洞爺湖町	342,543人泊	+21.5%

【中国の宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	765,660人泊	+25.6%
2	占冠村	107,671人泊	+65.4%
3	登別市	104,450人泊	+21.1%
4	洞爺湖町	97,745人泊	+17.2%
5	函館市	86,065人泊	+2.2%

【韓国の宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	671,667人泊	+44.8%
2	登別市	137,227人泊	+39.0%
3	洞爺湖町	56,490人泊	+60.5%
4	小樽市	52,714人泊	+82.2%
5	留寿都村	33,376人泊	+15.5%

【台湾の宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	605,880人泊	+19.2%
2	函館市	280,365人泊	+25.3%
3	登別市	164,230人泊	▲5.9%
4	洞爺湖町	111,353人泊	+19.9%
5	上川町	105,317人泊	+8.3%

【香港の宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	296,924人泊	+18.5%
2	倶知安町	82,081人泊	+25.6%
3	登別市	40,143人泊	▲1.8%
4	小樽市	39,744人泊	+35.4%
5	二セコ町	34,519人泊	+2.7%

【シンガポールの宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	121,131人泊	+14.8%
2	倶知安町	49,746人泊	+18.8%
3	占冠村	19,347人泊	+132.2%
4	函館市	17,693人泊	+14.4%
5	旭川市	15,176人泊	+35.7%

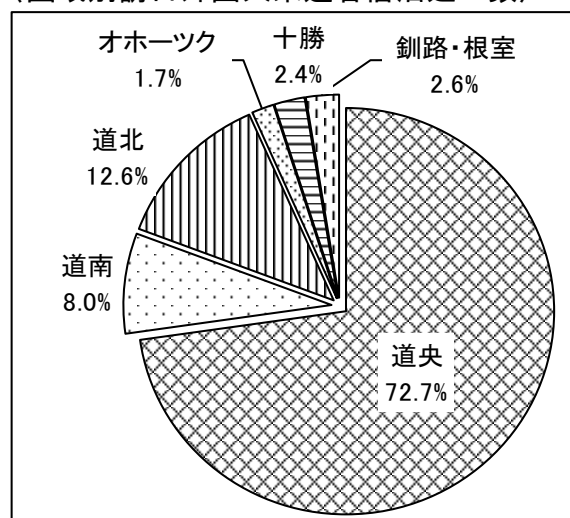
【タイの宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	170,515人泊	▲13.2%
2	函館市	32,645人泊	+64.4%
3	旭川市	25,463人泊	+11.7%
4	倶知安町	18,880人泊	+29.1%
5	上川町	15,299人泊	▲28.7%

【オーストラリアの宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	倶知安町	96,545人泊	▲1.5%
2	札幌市	31,720人泊	+9.8%
3	二セコ町	26,315人泊	+5.9%
4	占冠村	20,743人泊	+118.3%
5	富良野市	13,468人泊	▲23.6%

〈圏域別訪日外国人来道者宿泊延べ数〉



Ⅲ 観光消費額単価

道内10の観光地点において実施したパラメータ調査により得られた観光消費額単価は、下表のとおりとなっています。

＜平成29年度 観光消費額単価＞

(単位:円)

区 分		日帰り	宿泊	
第1 四半期 (4~6月)	道内客	観光	4,393 (4,334)	23,485 (23,004)
		ビジネス兼観光	5,085 (4,482)	16,820 (15,695)
	道外客	観光	12,614 (10,250)	79,129 (78,543)
		ビジネス兼観光	5,625 (5,471)	29,767 (26,441)
	外国人	観光	9,208 (10,915)	131,135 (135,072)
		ビジネス兼観光	8,877 (7,363)	71,501 (63,972)
第2 四半期 (7~9月)	道内客	観光	4,061 (3,783)	26,713 (26,572)
		ビジネス兼観光	4,051 (4,718)	15,548 (16,114)
	道外客	観光	25,495 (25,304)	87,852 (87,743)
		ビジネス兼観光	5,578 (5,677)	26,782 (28,855)
	外国人	観光	8,552 (8,883)	143,042 (129,166)
		ビジネス兼観光	8,695 (7,176)	76,317 (67,962)
第3 四半期 (10~12月)	道内客	観光	4,313 (4,252)	24,118 (23,546)
		ビジネス兼観光	4,158 (3,458)	15,497 (17,223)
	道外客	観光	22,136 (21,556)	73,631 (70,036)
		ビジネス兼観光	6,004 (5,722)	27,122 (30,422)
	外国人	観光	8,868 (12,063)	131,428 (126,394)
		ビジネス兼観光	8,407 (9,435)	76,513 (63,196)
第4 四半期 (1~3月)	道内客	観光	3,660 (3,322)	24,070 (23,503)
		ビジネス兼観光	6,187 (3,475)	17,806 (16,900)
	道外客	観光	24,430 (24,500)	77,083 (78,239)
		ビジネス兼観光	8,089 (5,536)	26,418 (30,516)
	外国人	観光	9,964 (8,792)	134,705 (130,650)
		ビジネス兼観光	5,427 (5,810)	125,343 (68,868)

※ ()内の数値は、前年度の単価です。

観光消費額単価は、道内10の観光地点で実施したパラメータ調査により得られたサンプルから算出しています。

なお、道内客、道外客、外国人客の「ビジネス兼観光」及び外国人の日帰りの単価は、観光庁から提供された値を掲載しています。

北海道観光入込客数調査報告書 [平成29年度]

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/irikomi.htm>

平成30年8月

北海道経済部観光局観光企画グループ

札幌市中央区北3条西6丁目

電話番号（代表）011-231-4111 内線 26-566

（直通）011-204-5302

FAX番号（直通）011-232-4120
